

ぽぽデイだより NO.138 令和6年8月号

社会福祉法人 ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

施設長より

4月から事務室にいたことが以前より増えて、少し遠目にお子様の様子を見させてもらうような場面があります。私の仕事している様子が以前と少し変わっても、お子様たちは、私の名前を呼んで事務室に遊びに来てくれる子もいます。遠くにいても存在を感じてくれていることはとてもありがたく、子どもたちに癒してもらっています。近くにきて最近あった出来事で楽しかったことを話してくれたり、好きな話題、興味のあること、工作をして出来上がった作品を見て見て～と伝えに来てくれるなど、いろいろなお子さんが話しかけてくれます。パソコンをカタカタと打ちながら書類を作っている時でも、ただ文字を並べるのではなく、目の前にいる子どもたちに関わる仕事をさせてもらっているのだと再実感しながら仕事に向くことができ、子どもたちにも感謝しています。

事務室には、ハサミを借りにくるお子さんも数名います。また、パソコンが使いたくて、それを伝えにくるお子さんもいらっしゃいます。

最近とても丁寧な言葉遣いで物を借りに来るお子さんが増えたと感じます。もしかするとお友達が使っている言葉遣いを近くで聞いていて、自分も言い方を変えていこうと思っているお子さんもいるのかもしれませんが、お子さんの成長を感じながら、私も成長しなければいけないなと振り返らせてもらうきっかけになっています。

児童発達支援 いちご組

児童発達支援
の一場面です



朝の会、絵本の時間の場面です。図書館で借りた『タンタンのずぼん・ぼうし』をみんなで楽しみました。お子さまの身近な『ずぼん』や『ぼうし』が登場します。それらが、色々なあそびに広がり、一人ひとりのお子さまが『つぎはどうなるのかな』と期待の表情になっていきます。次の週に別の曜日にも、みんなで、この絵本を楽しみました。あるお子さまは、前回友だちが言っていたお話・言葉をしっかりと受け止めて、今回は、ご自身がその発見した、感じた喜びを、嬉しそうに、堂々と発信する姿を見せてくれました。友だちのお話に、憧れ、言ってみたい気持ちを発信してくれた場面になりました。絵本の場面から友だちとの関わり合いが広がる機会になりました。生活に関わる身近な内容のお話から、楽しい世界のお話にも、これからもお子さま達と『絵本の時間』を楽しんでいきたいと思えます。

みずや寒天など、冷たい感触あそびを取り入れながら、この暑い夏を、健康に過ごしていきたいと思えます。

放課後等デイサービス

夏休みに入り 子供たちはさらに元気いっぱいに登所してくれています。暑い中外を歩いて、顔を赤くしながらぼぼデイへ来て、部屋に入ると『さあやるぞ』といった感じですぐに机に向かわれる お子さんがたくさんいます。夏休みの宿題に取り組む表情も平日の宿題とは違って、余裕を感じるような雰囲気があります。1日の滞在時間が長いこともあり、自分のやりたいことばかりで1日を埋め尽くすのではなく、周りの人が提案してくれてきたことも試しにやってみようとして参加してくれることがたくさんあります。また、時間の余裕もあることで 他の人と遊んでみようとする人の関わりも広がりも見られます。せっかくの子供たちにとって貴重な夏休みですから、充実した夏休みになるように、私たち職員らも応援していきたいと思っています。



放課後デイ
の
一場面です

今月の放課後デイおやつの内容について

- ・駄菓子（アルファベットチョコレート、果汁 100%ゼリー、ぱりんこ、ビスコ、ホームパイ、おにぎりせんべい、ハッピーターン、カプリコ、グミ など）、
- ・ゼリー ・たこ焼き ・アイス ・焼きおにぎり
- ・かきごおり（8/5～8/9 はかきごおりを選ぶことができます。）

職員研修をしました。

<人権研修の続きをしました。>

昔と今を比べて、子供たちの学び方の違いに触れました。時代と共に変化していく人権感覚から、新しく生まれる言葉(一部)についても触れました。昔から続いている人権課題や 現在日本や海外で抱えている人権課題や取り組みについても学びました。人権を大切にしたい施設であり続けるために、今後も人権について考える機会を作っていきたいと思います。

<BCP(災害)研修と訓練をしました。>

BCP (Business Continuity Planning)事業継続計画の略で、今年度より義務付けられた取り組みになります。災害や感染症によって事業の継続が危ぶまれた時にどういった対応をしていくのかを計画したものになります。社会福祉法人 ほっとスマイルは 2 施設のこども園と 1 施設の 企業主導型保育園 とぼぼデイ の 4 施設あります。施設間での連携や 避難場所としての機能など 災害時にどのように 施設を運営していくのが計画されています。まだスタートしたばかりの状態ですが改善していくことがたくさんありますが、いざという時に利用者や従業員の安全が確保されて、適切な対応ができるように、今回は職員への周知と安否確認の訓練を行いました。